

令和元年度第1回
下関市地球温暖化対策実行計画推進協議会 議事録

日時：令和元年8月20日（火）14:00～15:30

場所：下関市環境部啓発棟（環境みらい館）

3階第1研修室

1 開 会

配付資料確認の後、本協議会が原則公開であることと傍聴要領の遵守及び議事録作成について説明を行った。

出席者：下関市地球温暖化対策実行計画推進協議会委員

下関市環境部

資 料：資料1-1～1-4、資料2、資料3

2 議 事

- (1) 下関市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について
環境政策課から資料1に沿って説明（30分間）
- (2) 下関市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）について
環境政策課から資料2に沿って説明（15分間）
- (3) その他報告等
クールしものせきサポーターClubについて

【主な質疑等】

～ 区域施策編の説明 ～

A 委員 関門連携として北九州市と施策を実現していくことは市民や事業者に向けてプラスの広報の要因になるので是非取り組んでいただきたい。P27の電力排出係数の低減率について、これからデジタル社会が進展すると電力使用量も上がるように思うが、削減できる見込みについて、何か根拠的なものがあるのか。

環境部 SDGsについて、北九州市と宇部市もみらい都市として環境省から指定されてSDGsに取り組んでいる。本市は5月に下関青年会議所とSDGsに関する協定を結び、パッカー車にシールも貼るなどSDGsに取り組んでおり、色々なところでSDGsも含めた地球温暖化対策をPRしていきたい。

電力排出係数は、石油等でなく再生可能エネルギーを使えば係数を減らせる。

B 委員 上位計画である総合計画との関連性を示してもらいたい。また、それにより環境部で取り組む施策を明確にしてほしい。

会長 現在市では総合計画の後期計画の準備中だが、それとの関連あるいは環境部以外の部との関連というのはどういうふうになるのか。

環境部 今の段階で総合計画は序論というかたちでSDGsを掲げおり、今後、各一部局がSDGsについて具体的にどういう関連をし、関連した施策をおくかというのは各一部局が掲げていこうとしている状況。環境部だけが具体的にCO2を現実問題として目標など掲げており各一部局よりは進んでいる状態である。

C委員 「気候変動適応情報プラットフォーム」という国立環境研究所が運営しているサイトがあるが、地方公共団体が申請すれば取組み等を掲載できるので、適応策の発展のために検討してもらいたい。

会長 エネルギー源が変わることによって20%のCO2削減はなんとか確保できるが残りの10%をどうするのか。8%位は施策によってクリアできるかもしれないが残りの2%については何か策があるのか補足してほしい。

環境部 実行計画内の重点プロジェクト「クールチョイスしものせき」において、今年度から、本市として重点的・実践的に取り組む内容として「クールチョイス活性プロジェクト」に取り組んでいくところである。P3に概要図があるが、3つの柱「エコスタイル」「低炭素カーライフ」「省エネライフスタイル」。この3つを下関として今年度重点的に取り組んでいく。このような手段で下関独自として2%の削減に努めるのでご協力願いたい。

会長 市民の理解を広める点では効果はあると思うが、2%という実質的な数字を挙げるためには少し弱いのでは。何か新しい施策は考えられないか。

静岡市の取り組みを紹介すると、FIT（固定価格買取制度）がこの秋10年の区切りであるが、制度では10年を経過すると変動価格に代わる。これに伴い太陽光パネルを設置している各家庭では、電気をどこに売電すれば良いのか困惑し始めている。

下関でも適応策として小学校にクーラーを設置し始めたが、その電力源として、このような余った家庭の再エネについて、市が間に入り公共用途に使用して、地域のなかでエネルギーを循環して省エネにつなげていく、あるいは地域の関わり方として組み合わせしていく。現在は、小学校のクーラーも太陽光パネルも別立ての対策であるが、組み合わせることにより市としてのオリジナリティーのある取組になるのではないかと検討してみたらどうか。

それから下関市の特徴として自然環境も豊かで適応策においても自然産業系の期待は大きいので、産業系だけでなく自然産業系を盛り立てていくような施策の変更によって、下関らしい動きになってくるのではないかと。環境部局の計画な

らこの規模で済むかもしれないが、全体的・総合的に取り組む形にならないかということが市民の思いでもあるので検討をしたらどうか。

～ 事務事業編の説明 ～

D 委員 今回改定の区域施策編は、実行性を重視し環境部で実施できる課題が直接的に盛り込まれており良いと思う。一方事務事業編はどちらかというとなら普通の行政活動に伴うCO₂の排出量であり、他部局の長期的な事業、計画に関わるような点で温暖化対策が進んでいるのかという検証が落ちてきているのではないか。この点について何らかの形でPDCAを回せば良いと思うがどう考えるか。

環境部 下関市もかつてISO14001を認証取得していたが、社会情勢の変化とともに温暖化対策、省エネ化が進んできた関係で、現在のエコマネジメントプランにシフトし省エネ化を図っている。今後も庁内オフィス活動の結果・実績を原課にフィードバックすることで庁内オフィス活動、省エネ活動を強化していく。

D 委員 市民にとって町の道路をどうするか、公共交通をどうするかいうところも地球温暖化対策の重要なところ。しかし区域施策編は環境部さんが実施する普及啓発が中心になっており、他の施策についても実施する余地があるのではないか。一方、事務事業編は普通の行政運営、計画が主体で温暖化対策を進めることについてチェックするポイントが落ちてしまっている。これらについて地球環境経営会議でフォローされると思うが、可能な範囲で推進協議会のほうにも提示していただければと思う。

環境部 事務事業編に関しては環境部のみの取組でもなくなかなか進んでいないというのが実情。区域施策編の施策も推進協議会からご意見をいただき経営会議へフィードバックしながら取り組んでみないか声掛けしたい。今年度は第3次計画がスタートしたばかりであり、今年度の実績は来年度の推進協議会で報告するので、その際ご意見をいただければと思う。

3 その他

(1) 次回の協議会の日程について

【主な質疑等】

B 委員 総合計画との関連ですが、総合計画と推進協議会が扱っているものがどういう関連性になっているのか整理したものをいただければ、全体の実際のイメージが付きやすい。可能であれば示していただき、こういう場を作っていただきたい。

環境部 総合計画の内容を推進協議会に出すことが可能なのか、総合政策部と協議

しないとわからないが、何らかの情報が出せば会長さんをご相談させていただく。

会長 環境の話になると環境部だけの話に終わってしまいがちであるが取組としては全庁的に取り組んでいかなければならないと考える。私も総合計画にも関与しておりできるだけそれが反映されるような意見出しをしていきたいと思う。特にこちらの議論と総合計画が相對するようなところがあった場合、環境部門として意見する必要があるようなら集まっていただき、意見を出していただくことを考えたいと思う。ただし、整合性についての確認は、事務局と相談し、会議を開催せずに状況を連絡する形でおさめられればと考える。

推進協議会は市の諮問会議ではないが、こういう会議を設け市民からの意見を行政に届けるのが協議会の性質であり、2030年に向けて、地球温暖化対策実行計画について、協議していただくとともに、その内容や計画があるということについても市民の方に知っていただく機会にしてもらえればと思う。

環境部 次回の協議会開催については、会長と協議して決めさせていただくということで、決まり次第委員の皆様ご連絡します。

以上